

「75歳以上高齢者 ER陽性 HER2陰性乳癌患者に対する術前内分泌療法に関する検討」

1. 研究の対象

2012年1月から2019年12月までに当院で術前内分泌療法を行った75歳以上のホルモンレセプター陽性 HER2陰性乳がんの方

2. 研究目的・方法

乳がんになってしまう75歳以上の後期高齢者の方は増加していますが、余命や現在治療をしている他の病気を考慮した上で、ご本人及びご家族の希望を尊重して治療を選択する必要があります。今回当院乳腺外科では、75歳以上の乳がん患者様に対する最適な治療計画を作成する目的で、2012年1月から2019年12月までに当院で手術前に内分泌療法(ホルモン療法)を行った患者様のうちホルモン受容体が認められ、かつHER2タンパクという乳がんに関係するタンパク質が認められないルミナルタイプと呼ばれている75歳以上の乳がんの患者様の診療経過から、治療効果と問題点を検討する研究を計画しました。ご本人及びご家族の価値観を重視して、まずホルモン療法を開始し、ご本人とご家族が手術に同意されたときに手術を行った患者様が対象です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録(電子カルテ)から調査する情報としては、年齢、乳がんの組織型、病期、治療前併存症、選択薬、治療効果、治療関連有害事象、現在再発しているか、治療方針に関して意思決定する上で重要であった点です。

研究期間は病院長承認日から2021年6月30日までです。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

磐田市立総合病院 乳腺外科

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

電話：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 乳腺外科 乳腺外科部長 伊藤 靖